

平成26年度学校経営計画表

【全日制】

1 学校の現況

学校番号	47	学校名	県立土浦第一高等学校			課程	全日制		学校長名	豊崎 利明						
副校長名	倉持 正男 (全日制)		教頭名	猿田 渉(全日制)			佃 敦之 (定時制)		事務(室)長名	寺田 眞						
教職員数	教諭	60	養護教諭等	2	常勤講師	1	非常勤講師	4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	5	技術職員等	6	計	84
生徒数	小学科	1学年		2学年		3学年		4学年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	222	99	191	132	186	130			599	361	24				

2 目指す学校像

豊かな人間性の涵養と人格の形成を図り、次世代をリードする高い知性とたくましい心身を有し、社会の発展に貢献し得る人間の育成を目指す。
教職員の共通理解の下、生徒一人一人のより高いレベルでの進路実現を目指し、地域社会の期待に応える進路指導を実践する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習指導	授業を重視することを生徒に意識させ、高い目標に向けて学習を継続させているが、作問や指導法の改善については更に組織的に取り組む必要がある。	質の高い授業展開とその成果をめざし、生徒に「どのように主体的に取り組ませるか」を含めた指導の充実をいかに図るか。
進路指導	難関の国公立大学や医学部への進学を希望する生徒が多い。主に直接指導に当たる担任、学年に負う部分が多い。今後もこの傾向は続くものと思われる。	高い進路希望の実現をめざす生徒一人一人に対し、質の高い情報提供と意識付けをどのように進めていくか。
生徒指導	規範意識の高い生徒が多いが、服装面、交通ルールの遵守等で指導の必要な生徒が若干見られる。	基本的な生活習慣の確立、規範意識の高揚を指導するために、人間としてのよりよい生き方について生徒自らが考える活動をどのように行うか。
特別活動	文化祭、体育祭などの学校行事は生徒主体で企画運営ができています。8割の生徒が部活動に参加している。	学校行事、部活動を通して、コミュニケーション能力や豊かな人間性をどのように育成するか。

4 中期的目標

- 1 教師と生徒の信頼関係を深め、心のふれ合う学年・ホームルーム運営を推進する。
- 2 学力向上に資する特色ある教育課程を編成するだけでなく、自ら学ぶ意欲を喚起し、思考力、判断力、表現力等を育むために、より効果的な教科指導の在り方を組織的に研究、実践する。
- 3 特別活動を充実させ、部活動、学校行事等を通して、自主自立の精神を培い、豊かな人間性を育む。
- 4 個人面接、キャリアガイダンスをより充実させ、生徒一人一人の高いレベルでの自己実現を支援する進路指導を推進する。
- 5 生徒の心情に対する理解を深めるとともに、より適切な指導・助言の在り方を求め、教育相談の充実を努める。
- 6 S G H（スーパーグローバルハイスクール）の取り組みを活用し、世界で活躍できるグローバルリーダーの育成を推進する。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
教科の指導力をより向上させ、自主的・積極的な学習態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none">・授業に対する意欲と理解を高め、質の高い授業を展開する。・自ら学ぶ意欲を高めるとともに、より効果的な学習活動を支援する。・指導法の研究を通年で行い、授業改善、指導力向上を図る。
未来を見つめ、真摯な自己との向き合いを通して、自分の進路を自ら切り拓いていく態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none">・進路についての情報収集、将来の生き方、職業選択に関わる進路研究を積極的に行う態度を育成するとともに、各生徒への具体的な支援を行う。・個別面談等を通して生徒の自己理解を促し、高い目標設定と自己実現を目指す継続的な努力ができるように支援する。
基本的な生活習慣の確立に努めると共に、学校行事や部活動等への積極的な参加を促し、豊かな人間性の涵養に努める。	<ul style="list-style-type: none">・個別面談・教育相談を充実させ、生徒の悩みや課題の解決に向け支援する。・様々な活動に積極的に参加させ、協働する態度や自ら考え、責任ある行動が取れる態度を養う。・自らの生活を自ら律することの出来る態度を育成する。